

美浦村公共事業入札について

下村 宏 議員

質問 平成22・23年度における一般・指名競争入札の件数及び落札率の段階別内訳をお尋ねします。同様に随意契約についてもお伺いします。さらに、自治体によっては、電子入札制度の導入や予定価格の範囲以内で、価格と品質が総合的に優れている施工業者を選ぶといった総合評価方式を採用するところも増えていると聞いていますが、当村ではこれらについてどのように考えているのかお伺いします。

答弁（総務部長） 電子入札制度の導入については県を含め18の団体で加入しており、当村でも導入の検討をしましたが、コスト面等から見送った経緯があります。

す。また、総合評価方式の採用については、県内で20市町村あります。しかし、契約までに時間がかかるという難点があります。今後は、この制度の内容等把握に努め、入札・契約の効率化・透明化を踏まえ、検討していきたいと考えます。

質問 競争の原理を働かせながら、村内の小規模事業者を育成するため、分離・分割をさせて、発注をすることができないのか。また、低入札価格調査制度と最低制限価格制度の運用についてはどのようなになっているのかお伺いします。

答弁（総務部長） 工事の分離・分割発注については、常に勘案しておりますが、

発注金額5千万未満が大部分を占めております。耐震補強工事等のような建築工事は、工程の経費、効率性等勘案すると難しいと考えますが、独立した場所や工事と連動しない部分であるときは、分割発注ができるよう検討をしていきます。また、低入札価格調査制度と最低制限価格制度については、平成14年度より導入しております。

入札形態別落札状況 (単位：件)

区分	競争入札		随意契約	
	H22	H23	H22	H23
件数	77	80	45	43
90%未満	16	17	1	1
90%以上～95%未満	7	7	5	5
95%以上	54	56	39	37

質問 当初、市民農園の予定地として整備した馬見山地区の圃場を、今後どのように利用していくのかお伺いします。

馬見山地区の市民農園予定地の利用について

答弁（経済建設部長） 当該用地は、ゴミ捨て場状態となっていた村有地を整理して、市民農園としての利活用を計画、土地の土壌改良等いたしました。日当たりが悪く進入路が狭いこと、野生動物の影響等の理由で取り止めております。現在は具体的な利活用の予定はありません。庁内で慎重に検討していきたいと考えています。

答弁（村長） 馬見山地区の荒地となっていた村有地は、江戸崎地方衛生土木組合の協力を得て、農地として使用できるまでにしました。地元の方々や地区の議員、村と協議の上、保全利活用していきたいと思えます。